

◆ 仕事概要

- ・普及：生産技術指導、農業経営指導、新規就農等の担い手育成
- ・研究：生産性向上、省力化、高品質化等に関する新技術や新品種の開発
- ・教育：農業後継者の育成
- ・行政：担い手育成や農業生産振興に関する施策の立案と実行

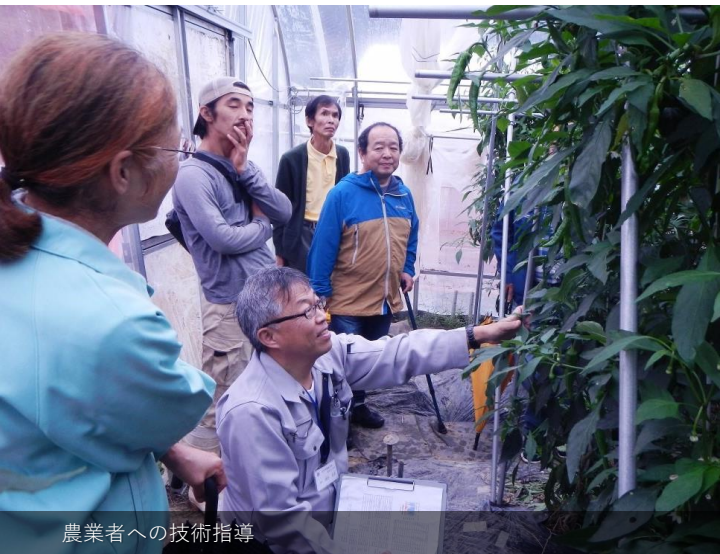
◆ 主な配属先

本庁（流通・ブランド戦略課、農業課など）、広域振興局、農林水産技術センター、農業改良普及センター、農業大学校など

◆ 京都府の「農業」職の特色

千年の都として栄えてきた京都では、長い歴史に育まれた「京野菜」、酒造りに適した「酒米」、最高級の品質を誇る「宇治茶」などが生産されており、料亭、茶道など、伝統文化や伝統産業を支える貴重な原料や商材として高い評価を受けています。

京都府の農業職員は、これら農産物の生産者と結びつき、新たな技術を取り入れることで持続可能な生産を実現し、豊かな府民生活の実現に貢献しています。



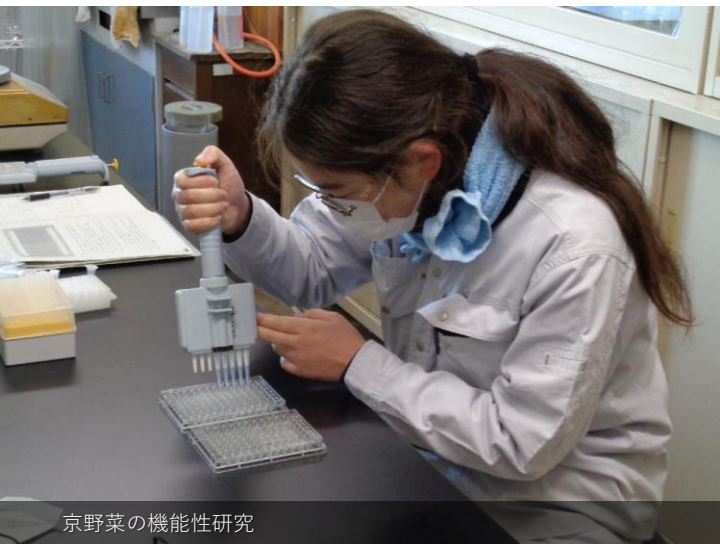
農業者への技術指導

農業改良普及

農業者に寄り添ったコンサルティング活動

地域の実態と将来展望から次の4つを柱とした「普及指導計画」を策定し課題解決に取り組んでいます。

- ①人づくり：農業者への経営指導、新規就農者への経営安定に向けた段階に応じた技術指導
- ②ものづくり：新技術や新規品種導入による生産体制の強化、スマート農業技術の導入による経営向上、ICTを活用した情報蓄積と共有による生産技術の高度化
- ③地域づくり：集落営農組織の支援、特産品開発、地域資源を活かした地域おこしビジネスの創出
- ④安心・安全づくり：気候変動による影響に対応する指導、環境にやさしい農業の推進、野生鳥獣被害防止対策



京野菜の機能性研究

試験研究

京都府農業の未来を見据えた夢のある研究

農業の振興と健康で豊かな府民生活を実現するため、京都府の農林水産施策の推進を技術面から支え、次の3つの柱に沿った研究課題を設定し、その成果の迅速な普及と農業を支える担い手の育成を推進しています。

- ①食の安全性・信頼性確保と健康に良い食の供給を支える研究：新病害虫の防除、高付加価値化に向けた機能性評価、輸出国に応じた生産技術
- ②収益性の高い農業経営を支える研究：スマート農業技術の開発、生産性の向上、産地間競争に勝ち抜く品種開発
- ③豊かな地域環境を守るための研究：気候変動に対応した技術開発、有害鳥獣対策

